

## 第 31 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 4 月 5 日 (火曜)	午前 9 時 30 分	開会
	休 憩 10:37-55		
		午前 11 時 25 分	閉会
会議場所	委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 中村 和宏	委員 渡辺洋一郎	
	副委員長 正村紀美子	委員 黒田 栄継	
	委員 鈴木 健充	委員 常通 直人	
	委員 中田智恵子		議長 早苗 豊
欠席委員 氏 名			
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 議会だより 4 月号の編集について
- イ 議会だより 5 月号の編集企画について
- ウ 議会報告と町民との意見交換会のまとめについて
- エ 議会活動の外部評価の実施について
- オ 議員定数と報酬のあり方について
- カ 第 2 回モニター会議の開催について
- キ 議員研修について

当日資料 1
資料 2
資料 3
資料 4
資料 5
資料 6
資料 7

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程 (予定) について
- (2) その他

2 議 件

- ア 議会だより 4 月号の編集について 当日資料 1
  - ・渡辺委員：資料説明 (12ページ編集)。本日13時校了。
  - ・委員長：意見・質疑はないか？
  - ・(意見・質疑なし)
  - ・委員長：説明のとおりで校了とする。

イ 議会だより5月号の編集企画について 資料2

- ・渡辺委員：資料説明（8ページ編集）。4月27日校了予定。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：説明のとおり、編集を進めることとする。

ウ 議会報告と町民との意見交換会のまとめについて 資料3

- ・渡辺委員：PTAとの意見交換会について「まとめ」を整理した。別紙資料（資料3-1・2）のとおり、両常任委員会での意見交換会における記録を基に総括したものである。本日の協議を経て、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図りたい。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・常通委員：今年度から「まとめ」の体裁を改正した。これで良いと考える。
- ・委員長：他にないか？  
（質疑なし）
- ・委員長：提案通りで決定し、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図る。

エ 議会活動の外部評価の実施について 資料4

- ・正村副委員長：先日の議運ミーティング（3月24日）における山崎幹根議会サポーター（北大公共政策大学院教授）との意見交換を踏まえて、外部評価の趣旨、手法等について、資料に基づいて共通認識を図りたい。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・鈴木委員：今後、実際に外部評価を対象とする具体事業として、高校生との連携協定事業等（白樺高校・芽室高校）がふさわしいと考える。
- ・委員長：他にないか？  
（質疑なし）
- ・委員長：説明内容に基づき共通認識を図ったことから、次回議運（4月15日）で、より具体的な評価内容（目標設定・成果指標・評価者等）について協議する。

オ 議員定数と報酬のあり方について 資料5

- ・事務局長：第11回全員協議会（3月11日開催）における分科会での議論を踏まえて、議運における整理案（第28回：2月21日開催）に朱書添削した。添削個所について、資料に基づき改めて協議したい。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・黒田委員：各グループから出された様々な意見が反映されていて良い。
- ・常通委員：政務活動費のまとめについては、「現時点で、緊急的な課題はなく現状通りとする。」ではなく、今後の見通しとして、いつまでに具体的な結論を出すなどを記載すべきと考える。
- ・鈴木委員：政務活動費以外は、概ね共通認識が図られているので了。ただし、政務活動費については、グループ討議を踏まえて、改めて、議員間討議をするなど深堀

りしてはいかがか？

- ・正村委員：2点意見する。1点目は、政務活動費について、鈴木委員の意見に賛成する。全議員における討議は必要と考える。ただし、その前提として、議運内で討議をし、一定の統一見解を整理すべきと考える。2点目として、議員定数のまとめについて、人口規模を根拠にすることは検討を要すると考える。これまでの研修等で専門家の知見等を踏まえ、かつ、他の自治体議会の定数を鑑みると、人口規模により議員定数を導くことは実態と異なり、この解釈は、現状とかい離する「まとめ」になることを危惧する。
- ・常通委員：政務活動費の検討・討議については、全員協議会において、メンバーを入れ替えた分科会で議論してはいかがか？
- ・正村委員：改めて議論・討議する上で、あらかじめ、検討事項を整理すべきである。議会から見た課題、住民から見た課題など、異なる視点で現状、課題、対応策などの項目の共通理解を図り、ポイントを絞った討議をすべきと考える。ついては、まずは、議会から見た課題について、議運内で深掘りしていく手順が良いと考える。
- ・常通委員：平成26年当時の検討結果を、改めて、今般検討する項目に設定してはいかがか。
- ・黒田委員：私の所属したグループの議論では、政務活動費の支給について、前向きな検討を希望する意見があった。ただ、主な用途となる「研修費用」については、現状で実感する支障もないという示唆もあった。そのため、議員が政務活動費の課題を実感してから検討する手順でも良いのではという思いもある。
- ・渡辺委員：私のグループでは、「研修」と「個人の調査・研究」は性格が異なるという意見があった。先ほど常通委員の意見のとおり、平成26年度の検討結果に立ち返って、その項目を検討していく手順が適切と考える。
- ・委員長：本日の意見を踏まえて、正副委員長において検討事項の論点整理をし、改めて協議したい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：次に、議員定数のまとめについて、人口規模を根拠とすることに意見はないか。
- ・常通委員：「町の規模や予算・事務事業量など」という表現に置き換えることはいかがか？
- ・黒田委員：議員の主な活動のひとつに「広聴」があり、その機能を果たすには「人口規模」という表現は理解できないものではない。決して人口何人に対し、議員何人という意味合いではない定義と捉える
- ・正村委員：例えば「多様な住民の声を反映させる。」とか、「多くの町民の意見を聴くため」には「16人」という思いが、表現できるように文言整理してはと考える。
- ・鈴木委員：「人口規模を前提」という表現を削除することで良いのではないか。
- ・中田委員：本町と比較して人口が類似している場合でも、議員数が多い自治体もあれば少ないところもある。そうではなく、活発な住民活動が実践されている背景を前提に、多様な住民の意見を反映させるには、この定数という導きが適正と考

える。

- ・渡辺委員：中田委員の意見に賛成する。人口規模の文言を入れると、人口が減少したときに議員定数も減らすべきとなるため、この表現は削除すべきと考える。
- ・正村委員：別件となるが、委員外発言と常任委員数との関係は？
- ・黒田委員：重複所属の考え方として、出された意見と記憶している。
- ・正村委員：本町議会の委員外発言は、質疑はできず発言のみである。他の自治体議会では発言を認められているところもある。そのため、重複所属を要しない根拠としては、説得力が乏しいと感じるがいかがか？
- ・黒田委員：確かに本町議会より精度の高いしくみも存在するが、機能のひとつとして、本町議会の特筆すべき事項と考えるところである。今後に向けた発展的課題は存在するが、現時点で、明確に記述しておくべきと考える。
- ・常通委員：黒田委員の意見に賛成する。
- ・委員長：全体を通して、意見はないか？  
(意見なし)
- ・委員長：本日の協議結果を踏まえて、次回議運で再度協議し、その後、次回全員協議会（4月20日）で、共通認識を図る。

#### カ 第2回モニター会議の開催について 資料6

- ・正村副委員長：当初1月27日に予定していた第2回会議の延長日程として、4月25日に実施することとしたい。なお、議論テーマ等に変更はなく、本日この場で変更日程の決定後に、モニター宛に開催案内を発信する予定である。なお、次回議運（4月15日）では出欠報告を踏まえたグループ編成等を確認し、次回全員協議会（4月20日）で全議員の共通認識を図る流れとなる。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・黒田委員：会議の資料は、現在、議会内で協議している資料と解して良いか？
- ・正村委員：資料の体裁は議会で議論しているものとは異なるが、分科会等で協議を重ねてきていることから、全議員が同じ視点で臨むことを考えている。
- ・黒田委員：議会として、モニター会議の目標設定は何か？
- ・正村委員：進行要領の「まとめ」に記載したとおり、「意見を大きく分類する」「賛否や方向性が異なる意見はそのまま整理する」ことが、いわゆる目標設定、会議のねらいとなる。モニターから出された意見をひとつにまとめることを目標とするのではなく、議会の広聴要素のひとつとして、これまで議員全員で議論してきた「定数と報酬のあり方」に対して、モニターから寄せられた意見の反映の可否を検討することにつなげるものである
- ・常通委員：会議の手法はオンラインも可か？
- ・正村委員：お見込みのとおりである。
- ・黒田委員：託児はどのように考えるか？
- ・正村委員：設けない考えである。
- ・委員長：他にないか？  
(質疑なし)

- ・委員長：本日の協議結果を踏まえて、次回全員協議会（4月20日）で、共通認識を図る。
- ・委員長：他にないか？  
（質疑なし）
- ・委員長：説明内容に基づき、取り進める。

キ 議員研修について 資料7

- ・事務局長：前回議運（第30回：3月15日開催）での議論を踏まえて、4月25日に開催予定の研修概要を先方（講師）と協議・整理した。なお、さらに具体的事項については、今後も講師と詰めることとし、次回全員協議会（4月20日）で情報共有を図ることとする。
- ・委員長：質疑はないか？  
（質疑なし）
- ・委員長：本日の協議結果を踏まえて、次回全員協議会（4月20日）で、共通認識を図る。
  
- ・委員長：ここで、当日追加の調査事項として、「ホットボイスの取扱いについて」を議件に加えることを諮りたい。異議ないか？  
（異議なし）

ク 議会ホットボイスの取扱いについて 当日資料1

- ・委員長：4月4日付で受理した「ホットボイス」について、別添要綱に基づき取扱い方法を整理していきたい。まずは、第2条に規定する「ホットボイスに該当するもの」として議論を進めていくことに異議はないか？  
（異議なし）
- ・委員長：次に、要綱の第3条の規定に係る協議として「取扱う」、「回答を作成する」とすることで異議ないか？  
（異議なし）
- ・委員長：次に、要綱の第4条の規定に係る協議として「内容の公開」についてはいかがか？  
（異議なし）
- ・委員長：ほかに意見はないか？  
（意見なし）
- ・委員長：本日の協議を踏まえて、次回の議運（4月15日）で正副での回答文案を協議したい。異議ないか。
- ・常通委員：回答は担当委員（総務経済常任委員会正副委員長）作成としていただきたい。いかがか。
- ・鈴木委員：異議なし。
- ・委員長：総務経済常任委員会担当で作成することを決定する。

### 3 その他

#### (1) 次回の委員会開催日程について

- ・ 4月15日（金） 9時30分から

#### (2) その他

- ・ 委員長：委員各位から「その他」はないか？
- ・ 常通委員：白樺高校との連携協定事業（1学年）及び芽室高校との意見交換会のまとめについて、情報共有する。その他資料1及び2に整理したので御確認いただきたい。なお、この後ミーティングにより「総括案」を整理し、次回議運で協議する予定である。
- ・ 委員長：質疑・意見はないか？  
(質疑・意見なし)
- ・ 委員長：説明内容に基づき、次回議運（4月15日）で協議する。
  
- ・ 委員長：議長からないか？
- ・ (なし)
- ・ 委員長：事務局からないか？
- ・ (なし)
- ・ 委員長：以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年4月5日

議会運営委員会委員長 中村和宏